

令和2年5月22日

国土交通省鉄道局

水嶋 智 局長 殿

静岡県知事 川勝 平太

リニア中央新幹線静岡工区有識者会議について

リニア中央新幹線静岡工区有識者会議（以下「有識者会議」という）について、令和2年1月30日付「リニア中央新幹線静岡工区の進め方について」における貴省との合意5項目（①会議の透明性②全47項目の議論③JR東海への指導④委員の中立公正⑤座長の中立性）の重要項目が遵守されていません。約束の不履行は信頼をゆるがせます。本県の関係者は、貴職の言い訳に驚いており、不信感をいだき始めています。

第1回有識者会議は、新型コロナウイルス感染症拡大のさなかのことであり、WEB会議は最善の方法でした。しかし公開を限定するという貴職の突然の表明は明らかな合意違反です。それに対して抗議のコメントを送付しました。返事はいただいておりません。同じ合意違反を第2回有識者会議でも繰り返されました。ここに改めて下記のとおり申し入れます。

1 会議の透明性

貴省との合意によって公式に設置された有識者会議（4月27日、5月15日）の公開の合意は、貴職の判断によって、守られませんでした。

- 1) 大井川の水問題は、流域市町の首長・議会・住民にとって死活にかかわる最大の関心事です。
- 2) 大井川の水とともに南アルプスの保全もまた本県民の重大な関心事です。
- 3) 南アルプスの工事についてリニア中央新幹線建設期成同盟会は多大の関心を寄せています。
- 4) リニア中央新幹線工事は東京から大阪までの沿線住民すべての関心事でもあります。
- 5) JR東海が「国策」というように国民の関心事でもあります。

- 6) 大井川の源流の南アルプスはユネスコのエコ・パークであり、広く国際社会の関心事です。
- 7) 有識者の科学的議論に政治性はありません。

地域住民ならびに国民は、国費を使って行われる会議の内容を知る権利があります。それが貴職の「自由な発言を阻害する要因になり得る」という安易な判断で、「公開すべき情報の透明性」の原則は守られませんでした。第3回以降は「合意5項目の第①項目」を遵守し、有識者会議における情報のやりとりの全面公開を求めます。

なお、WEB会議では、度重なる機器の不具合がありましたので、改善を求めます。

2 JR東海への指導

加えて貴職は、第1回有識者会議でJR東海社長の「同社の方針を理解して会議をすすめてほしい」という趣旨の勝手な発言を許しました。有識者会議の目的をまったく理解していない事業者トップの不見識ぶりを如実に示した発言です。

大臣の「誠に遺憾」発言を招いたのは当然です。JR東海社長は、その後の記者会見で発言の撤回をされていません。社長は「大臣の遺憾発言」を招いたみずからの不徳を恥じねばなりません。

一方、大臣発言の重さを真摯に受け止めるべき立場にある貴職が、前回有識者会議（第2回）において、部下を身代わりにした謝罪で済ませたのは大臣発言を軽視したものです。

JR東海への指導は合意事項③に明記されています。

貴職にはJR東海を指導する権限と責任があります。次回の会議の場に社長の出席を求め、発言の謝罪と撤回をするよう指導の徹底を求めます。

付記：念のために申し上げます。この申し入れは、有識者会議と委員各位にかかわるものです。5月1日付けの抗議文、4月21日、5月14日の抗議コメントとともに、有識者会議の委員各位には必ずご回覧ください。